

公益財団法人水交會平成31・令和元年度事業報告書  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 全般

平成31・令和元年度の事業は、本部施設移転を含め年度事業計画及び収支予算に基づき実施し、概ね計画どおり順調に経過した。

2 事業等

(1) 海洋安全保障思想の研究・普及

ア 海洋安全保障に関する調査研究

(ア) 研究活動の実施

- a 旧海軍の歴史に関する知見を深めるとともに水交會の地位向上に寄与する海軍歴史公開講座を6回開催した。
- b 笹川財団海洋政策研究所と「海洋安全保障シンポジウム」を共催した。
- c 4回目となる4団体(隊友会、偕行社、水交會、つばさ会)合同の政策提言を作成し防衛大臣に提出した。
- d 海洋安全保障に関する研究成果を水交誌等に投稿した。
- e 先人の残された資料の収集・整理を実施した。

(イ) 防衛関係諸団体等との交流

- a 旧海軍関係者の会は高齢化により活動を縮小・停止する例が増えている。水交會行事への案内を行い参加者との交流を図った。
- b 4団体合同の政策提言に関する調整及び4団体連絡會を通じ隊友会、偕行社、つばさ会と意見を交換した。
- c 海自OB諸団体等連絡會を通じ、航翔會、JANAF、通友會、電子會、うみどり會、東郷會及び幹候各同期生會との意見交換を実施した。
- d 各支部においては、賀詞交歓會や防衛講演會の共同開催、記念日行事等を通じて防衛関連諸団体等と交流を図った。

イ 海洋安全保障思想の普及活動

(ア) 講演會・各種セミナーの開催

- a 水交會本部の定例講演會等を10回、防衛セミナー及び水交セミナーを各1回開催し防衛思想の普及等に努めた。
- b 一般団体(ロータリークラブ等)から8件の講話依頼があり、講師を派遣した。
- c 各支部は年1～2回の講演會を計画実施した。

(イ) 水交誌等の発刊

- a 水交誌は、年間4回発刊、会員に頒布するとともに希望する一般の人にも頒布した。また、関係諸団体、関係官庁、報道・出版関係、国立国会図書館、各都道府県立図書館及び各自衛隊地方協力本部にも配布した。海上自衛隊には各部隊等に対し毎号500部、海外派遣部隊に対し毎号30部を寄贈した。
- b ホームページに、これまでに発刊した水交誌掲載記事を、「水交記事リスト」とし公開するとともに、「ニュースレター」コーナーで海洋安全保障に関する意見の発信を行った。
- c 各支部は年1～4回支部会報誌又は新聞を発行し、会員に配布するとともに地域の海上自衛隊の部隊、及び自治体・団体に配布した。

(ウ) マスコミの取材等に対する協力

- a テレビ局・新聞社等からの問い合わせ、紹介等の要請に協力した。
- b 作家、ジャーナリスト及び一般の人等からの海軍に関係する各種問合せ・経歴確認等の要請に協力した。

(2) 海上自衛隊に対する協力支援

海上自衛隊に対する協力支援を次のとおり実施した。

ア 海外活動に対する支援

- (ア) 海外派遣部隊等の出入国行事に各支部会員が参加し、激励した。
- (イ) 練習艦隊の出入国行事に参加するとともに、内地巡航中の各寄港地において本部及び各支部が壮行會を主催又は協賛して激励・支援した。
- (ウ) 砕氷艦「しらせ」の出入港行事に参加した。

イ 災害派遣部隊に対する支援

令和元年8月の佐賀県の大雨被害にかかわる災害派遣に際し佐世保支部を通じて佐世保地方隊に、また台風19号の被害にかかわる災害派遣に際し、横須賀支部・呉支部・佐世保支部・舞鶴支部・大湊支部を通じてそれぞれ横須賀・呉・佐世保・舞鶴・大湊地方隊等を激励した。

ウ 教育訓練等に対する支援

(ア) 講師の派遣

a 統幕学校・幹部学校等の幹部課程等へ講師を派遣した。

b 海上自衛隊各術科学校で実施された上・中級管理講習に最寄りの支部等から講師を派遣した。

(イ) 体育活動に対する支援

海上自衛隊大会(柔・剣道)において、優勝杯を授与した。

(ウ) 援護業務に対する支援

援護業務関係隊員を激励支援した。

(エ) 幹部学校への支援

幹部学校が実施する研究発表を支援した。

エ 各種行事及びその他に対する支援・協力等

(ア) 幹部候補生学校の入校式、卒業式に参加し、卒業式において激励賞を贈呈した。

(イ) 航空学生の入隊式に参加し激励した。

(ウ) 教育隊(横須賀、舞鶴、呉、佐世保)の入隊式、修業式に参加し、修業式において激励賞を贈呈した。

(エ) 「てつのくじら館」(海上自衛隊呉資料館)に対して呉支部が支援を実施し

(オ) 留守家族支援は横須賀、湘南・佐世保大湊支部が総監部等と覚書を交換し、横須賀においては水交会単独で、その他の地域では隊友会、自衛隊家族会等と共同で支援を実施している。

(3) 海上防衛活動等における戦没者・殉職者の慰霊顕彰及び遺族に対する援護等

ア 慰霊行事及び祭典等の実施・参加等

(ア) 水交会月例参拝会(靖国神社・千鳥ヶ淵戦没者墓苑・自衛隊殉職者慰霊碑)を4月、10月を除き10回実施した。

(イ) 厚生労働省・防衛省の主催する主要慰霊祭への参列

a 千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式、全国戦没者追悼式、自衛隊殉職隊員追悼式に参列した。

b 各地域所在部隊の殉職隊員追悼式に支部会長等が参列した。

(ウ) 靖国神社、東郷神社等の慰霊祭及び例祭へ参列した。

(エ) 慰霊祭の実施及び参加並びに慰霊施設の維持協力

a 大湊支部は海軍戦傷病者慰霊祭、湘南支部は神雷部隊慰霊祭、関西支部は関西地区海軍戦没者追悼式、呉支部は水交神社例祭・海軍祭、の各慰霊祭を主催して実施した。

b 本部は海防艦慰霊祭、舞鶴支部は海軍基地慰霊祭、関西支部は海軍熊野灘部隊戦没者追悼式、福岡支部・佐世保支部は日本海海戦記念行事、鹿児島支部は東郷記念祭を共催して実施したほか、本部及び各支部は地域の海軍墓地、戦没者慰霊祭等に参列又は支援した。

(オ) 洋上慰霊祭等における献花

遠洋練習航海部隊の実施する洋上慰霊祭に花輪を委託。

(カ) 防衛・慰霊顕彰関係に携わる団体が構成する「洗心懇談会」が毎月1回行われ、これに参加した。

イ 遺族等に対する援護等

(ア) 遺族等からの軍歴等の照会に対し、調査、確認等の支援を実施した。

(イ) 本部及び佐世保支部から「わだつみ会」に義捐金を贈呈して支援した。

(ウ) 一般社団法人「日本戦没者遺骨収集推進協会」の計画した硫黄島遺骨帰還事業(1.9.25~10.8)に水交会から1名が参加した。硫黄島以外の地域への派遣要請はなかった。

(エ) 靖国神社崇敬奉賛会、東郷神社、大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会等の奉賛事業に賛助又は協力した

(4) 地域社会活動への寄与

- ア 大和ミュージアム（呉）及び海軍さんの散歩道（佐世保）における説明等  
各支部は地方自治体等に対する協力支援を実施した。
- イ 地域社会・公益諸団体等への協賛・交流等を実施した。  
特に呉水交会は「日本遺産「呉鎮守府」開庁130周年記念事業」への参画に  
より呉市、海上自衛隊、協力団体等との関係強化に努めた。
- ウ 東郷会等との共存関係の維持強化に努めた。

(5) その他の事業等

- ア 会勢拡充活動
- (ア) 会員

会員の種類		元年度末（30年度末）
正会員		4,728名（4,845名）
賛助会員	個人(海自隊員)	5,920名（5,681名）
	法人・団体	62法人・団体（62法人・団体）

(イ) 支部

支部は、北海道、大湊、下総、横須賀、湘南、舞鶴、関西、呉、福岡、佐世保及び鹿児島島の11支部で変化はなかった。

なお、大湊支部、湘南支部、呉支部及び鹿児島支部の会長が交代した。

(ウ) 会勢拡充の活動

- a 賛助会員（海上自衛隊の隊員）の加入促進を図るため、役員等が各地の海上自衛隊の部隊を訪問して現状を説明、水交会の目的に賛同を得ることに努めた。
- b 防衛セミナー・水交セミナーの場を活用し、多方面にわたる業種の会社に働きかけを実施し、法人・団体賛助会員の増勢に努めた。
- c 上級・中級管理講習の場を活用して水交会の活動状況を紹介し、退職隊員の入会促進に努めた。
- d 佐世保では、総監部（援護業務課）が主催する就職援護担当官会報（年4回）及び定年退職予定者説明会（年2回）に会勢拡充担当幹事を派遣して入会促進に努めた。  
その他の支部においても様々な機会を活用し入会促進を図っている。
- e 海幕、各総監部はじめ各部隊等の援護業務課・援護室、及び水交会各支部に配布した「水交会のパンフレット・入会申込書」の残部数の確認等を行うとともに、継続して、隊員退職時の入会勧誘及び有志会員の勧誘に努めた。

イ 支部事業活動

各支部はそれぞれの年度事業計画に基づき、事業活動を実施した。

(6) 集会設備の運営

ア 水交クラブ利用状況

平成31・元年度の利用状況は、利用人数（組数） 10,811人（486組）であった。

[30年度実績 14,385人（745組）]

令和元年6月21日の利用を最後に旧施設でのクラブ事業を終了、7月1日からピーターハウスにて業務を開始した。この間、クラブが受け付けた客は、調整の上で東郷記念館の施設を利用してもらった。

6月27日にピーターハウス3階で定例講演会を開催、その後、7月4日の利用を皮きりに新施設でクラブ事業を継続している。

イ 環境整備

害虫（カ・チョウバエ）の駆除を実施した。（衛生）

(7) 管理業務

ア 法人全般業務

(ア) 理事会及び評議員会等の開催

会議の種類	実施回数	実施期日
通常理事会	2	1. 5. 22（水） 2. 3. 12（木）
臨時理事会	1	1. 6. 12（水）
定時評議員会	1	1. 6. 12（水）

(イ) 支部会長会議の開催

7月19日（金）、支部会長会議を実施した。

(ウ) 委員会等の開催 (H31.4.1～R2.3.31)

委員会の種類	実施回数	委員会の種類	実施回数
会務財務委員会	4	支部・会勢拡充委員	4
慰霊顕彰・援護委員会	4	海自等支援協力委員	5
研究委員会	6	広報委員会	9
編集委員会	3	クラブ委員会	4
施設委員会（臨時）	2	企画分科委員会	2

イ 広報活動

(ア) 部外誌等に寄稿し、海上自衛隊への支援活動等の情報発信に努めた。

(イ) 広報用パンフレットを作成した。

ウ 会員相互の親睦等

(ア) 会員の同好会活動

水交乗馬会、水交句会、水交囲碁会、コントラクトブリッジ会が同好会活動を実施した。

各支部においては部隊研修、研修旅行、ゴルフ、史跡めぐり、ハイキング等活発な活動を行った。

(イ) 会員の慶弔

公益財団法人水交会慶弔規定に基づき実施した。

エ サイバー攻撃への対応

不審メールその他の情報を入手の都度、委員会、各支部等に周知し、セキュリティ意識向上に努めた。重大な被害は報告されていない。